

サイレンが鳴つたら

消防団

消防団って消防署の人？

は、本業の傍ら平日夜や週末に集まり、訓練や研修に参加して知識と経験を重ねています。

問い合わせ

総務課

☎ 227-6051

消防団」と聞くと、「火災現場に駆けつけてるってことは消防署の人でしょ?」と思う人がいるかもしれません。しかし、消防署に勤務する消防職員とは違い、本業を別に持つ皆さんが地域の安全安心を守るために消防団員として活動しています。消防団員の皆さんには、火災発生を知らせるサイレンが鳴ると「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、職場や自宅などから出動します。また、団員の多くは、地域の情報を把握している地元住民で、身近で頼りになる地域防災の要です。身分は非常勤特別職の地方公務員。火災発生時には、消防職員と連携して消火活動を行います。



～野々市市消防団の3大行事～

消防出初式



時期 1月上旬

場所 市役所・あらみや公園

消防団員や自警団員、消防職員が、新たな年の無火災を願つて実施。消防車両行進や『勇鷲会』によるはしご登り、初放水が披露されます。消防団の活躍を誰もが見られる機会です。

白山野々市川北消防訓練大会



時期 6月中旬～下旬

場所 松任グリーンパーク(白山市)

白山市・野々市市・川北町の消防団が一堂に会し、消防操法の技術などを競います。今年は6月18日(日)に開催。大会での勇姿や大会結果は、本紙の4～6ページに掲載しています。

火災防ぎよ訓練

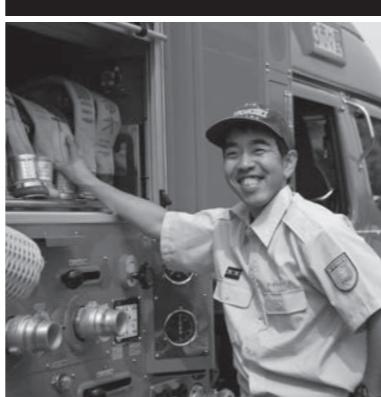


時期 年数回

場所 市内大型施設・文化施設ほか

火災が発生しやすい季節や文化財防火デーなどに合わせ、防火意識を高めることを目的に開催。施設などから出火した想定で、消防団員と消防職員が連携して消火訓練を行います。

INTERVIEW



宮岸 裕一さん(第3分団)

蓮花寺町出身。父が消防団員だったのをきっかけに、平成27年に入団。現在、白山市内の企業で技術者として働きながら、火災発生の知らせを受けると第3分団員として現場に駆けつけている。祖父も元消防団員。

▼ 消防団の役割

消防や防災はもちろん、人探しや水防、災害時の復旧や安全確保など、役割は多岐にわたります。小松市の大雨災害ボランティアに参加した時、消防団が復旧・復興に一役かっていました。組織的に動けば、さらには火事場で必要な連携が日ごろからできていって、強い力だと実感しました。

▼ 地元・蓮花寺町への思い

生まれも育ちも野々市ですが、高校卒業後から35歳まで関西にいました。その時期もよく災害ボランティアに参加していました。その頃、地元にボランティアが必要な規模の災害が起きたらどうしようかと考えたことがあります。蓮花寺町は小さな町です。子供の頃、学校から帰ると近くの人が「おかえり」と言つてくれるので「ホッ」としま

した。この年まで生きて来られたのは、皆さんからこの安心を少しずつもらってきたからなのかなと考えています。

▼ 野々市と災害

野々市は山や海がなく、災害があまり身近ではありません。ただ、森本富権断層を水源とした大地震や、近年の異常気象による豪雨などの心配があります。起きた時何ができるか。頼りやすい人が身近にいて、遠慮なしに「助けて」と言えるのであればそれに越したことはありません。私は「周りの方の笑顔を絶やさない、自分が愛した大切なものを守る」それが消防団の役割だと思っています。火事や災害など、消防団が活躍する場が訪れないことが一番幸せなことです。「大難を小難に、小難を無難に」の一心で活動を続けていきたいです。

あなたもなる！野々市市消防団 団員募集

入団資格

市内在住・在勤の心身ともに健康な18歳以上の人

待遇・各種補償など

- *報酬などの支給、退職報償制度
- *活動服・活動靴などの支給(貸与)
- *公務災害補償や福祉共済制度によるけがや病気などへの対応
- *各種表彰



災害発生時に活躍する消防団員を募集しています。火災発生時の消火活動や地震などの災害時に救助活動などを行います。

消防・防災活動に意欲のある健康な人を待っています。ぜひ、総務課防災安全係(☎ 227-6051)まで連絡ください。



鈴木 茗可さん
(第5分団/歴6年)

女性消防団員も活躍中！

市消防団では第5分団で女性消防団員12人が活躍しています。

活動例

- *一人暮らしの高齢者宅の防火診断
- *防火啓発活動
- *応急手当普及員として、消防職員による救命講習会のサポートなど

第5分団の皆さんが、防災知識の啓発や活動周知のための動画を作成しました！
視聴はこちらから→



野々市市の消防団では、5つの分団で110人以上が活動しています。年齢は20～70代と幅広く、職業も会社員、自営業、公務員、大学生などさまざま。本町・富奥・郷・押野の各地区にそれぞれ分団があり、団員たちがまちを見守っています。

自分たちで地域を守る

第7回 白山野々市川北 消防訓練大会

火点は
前方の標的ー



第7回 白山野々市川北消防訓練大会結果



小型ポンプの部で2位に輝いた第2分団の皆さん



大会結果

■総合成績						
第1分団	(本町地区)	26位	20位	7位	23位	7位
第2分団	(富奥地区)	24位	13位	9位	7位	
第3分団	(郷地区)					
第4分団	(押野地区)					
■ポンプ車操法の部						
第1分団	(本町地区)					
第2分団	(富奥地区)					
第3分団	(郷地区)					
第4分団	(押野地区)					
■小型ポンプの部						
第2分団	(富奥地区)	2位				

■白山野々市川北消防連合会長表彰	
△永年勤続表彰	勝井幸太(第2分団)
栗山 剛(第2分団)	
谷上夢太(第4分団)	
山本 実(第3分団)	
和田忠明(第1分団)	
上村康平(第1分団)	
中村雅成(第4分団)	
北村康広(第3分団)	

(6月18日(日)、松任グリーンパーク
白山市)で第7回白山野々市川北
消防訓練大会が開催されました。
消防活動の技術や知識の向
上を目的に実施する本大会。白山
市・野々市市・川北町から29分団
546人が参加し、技術を競い合
いました。野々市市の分団では、第2
分団が小型ポンプの部で2位に輝き
ました。

同日、消防活動へ尽力した団員が
表彰されました。

6月18日(日)、松任グリーンパーク
白山市)で第7回白山野々市川北
消防訓練大会が開催されました。
消防活動の技術や知識の向
上を目的に実施する本大会。白山
市・野々市市・川北町から29分団
546人が参加し、技術を競い合
いました。野々市市の分団では、第2
分団が小型ポンプの部で2位に輝き
ました。

6月18日(日)、松任グリーンパーク
白山市)で第7回白山野々市川北
消防訓練大会が開催されました。
消防活動の技術や知識の向
上を目的に実施する本大会。白山
市・野々市市・川北町から29分団
546人が参加し、技術を競い合
いました。野々市市の分団では、第2
分団が小型ポンプの部で2位に輝き
ました。

6月18日(日)、松任グリーンパーク
白山市)で第7回白山野々市川北
消防訓練大会が開催されました。
消防活動の技術や知識の向
上を目的に実施する本大会。白山
市・野々市市・川北町から29分団
546人が参加し、技術を競い合
いました。野々市市の分団では、第2
分団が小型ポンプの部で2位に輝き
ました。

被 表 彰 者

■石川県知事表彰
△銀盃を授与する表彰

竹中 重(第3分団分団長)
小寺くるみ(第5分団副分団長)

■石川県消防協会長表彰

△功労章
浅野晃一(第2分団副分団長)

△功績章
押田克夫(第4分団副分団長)

△勤続功労章
森 義治(第1分団)
扇 信夫(第4分団)

△勤続功労章
平野孝佳(第3分団)
山下栄俊(第2分団)

△勤続功労章
田中雅勝(第2分団)
梅平 仁(第2分団)

△勤続功労章
盛本圭一(第3分団)
堀 浩久(第2分団)

△勤続功労章
梅平 仁(第2分団)
山下栄俊(第2分団)

△勤続功労章
田中雅勝(第2分団)
梅平 仁(第2分団)

△勤続功労章
盛本圭一(第3分団)
堀 浩久(第2分団)

△勤続功労章
梅平 仁(第2分団)
山下栄俊(第2分団)

△勤続功労章
田中雅勝(第2分団)
梅平 仁(第2分団)

△勤続功労章
盛本圭一(第3分団)
堀 浩久(第2分団)

△勤続功労章
梅平 仁(第2分団)
山下栄俊(第2分団)

△勤続功労章
田中雅勝(第2分団)
梅平 仁(第2分団)

△勤続功労章
山下栄俊(第2分団)
梅平 仁(第2分団)

△勤続功労章
梅平 仁(第2分団)
山下栄俊(第2分団)